

# 平成20年度東洋大学予算について



白山キャンパス教育学科実習棟イメージ

学校法人東洋大学の平成20年度予算が、平成20年3月の理事会・評議員会で承認されました。このうち附属高校を除いた大学予算について、その概要と教育研究に関する事項の内容についてお知らせします。

また、学校法人東洋大学の平成19年度決算についても、あわせて報告します。

## 事業計画の基本的視点

平成20年度は、白山・朝霞・川越・板倉の4キャンパスそれぞれにおいて、学部から大学院までの一貫教育が開始されてから4年目となり、ライフデザイン学部では平成21年3月に2つの学科で初めて卒業生を輩出します。また、平成19年度には(財)大学基準協会による大学評価(認証評価)を受け、「大学基準に適合している」と認定されました。このような状況の中、今年度も引き続き社会的な需要を的確に把握し、教育研究の更なる発展・高度化を目指します。

平成21年4月からは東洋大学は新たな「5つの改革」と称し、既存学部学科の移転・改編・改組に取り組みます。特に平成20年度はこの「5つの改革」を円滑に実施するための諸準備を各キャンパスにて行います。さらに平成24年に迎える創立125周年を契機に、4キャンパスの有効利用を再構築する構想も引き続き検討していきます。

表1 主な予算内容 (単位:千円)

内容	予算額
<b>1.教育研究関係</b>	
● 学生の学習活動及び実習に関わる予算 (教育用図書・教材の購入など学生の教育活動に関わる経費) (調査実習など特別な教育に関わる経費) (工学部、生命科学部、ライフデザイン学部の実験実習経費) (教育実習、博物館実習、福祉・保育現場実習のための経費)	811,795
● 競争的教育資金獲得による教育支援プログラム (大学院教育改革プログラム) (現代的教育ニース支援プログラム)	36,047
● 学外からの講座開催のための予算	13,540
● 教員の研究活動のための予算	368,999
● 研究助成 (研究刊行助成) (研究プロジェクトへの助成) (井上円了記念学術振興基金による助成)	55,000
● 学術研究推進センター及び研究所の活動のための予算	48,799
● バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターの予算	206,480
● 競争的研究資金獲得による研究支援のための予算 (学術フロンティア事業) (学術研究振興資金助成研究) (オープンリサーチセンター推進事業研究) (社会連携研究推進事業) (ハイクオリティリサーチセンター整備事業) (科学研究費補助金研究)	514,541
● 学外からの受託研究等のための予算	240,000
● 課外講座のための予算	7,791
● 学部等運営に関わる予算	83,523
● 教育研究活動に直接必要な設備予算 (学部用機器に関わる経費) (研究装置設備の充実) (基幹ネットワークの維持) (教育研究情報ネットワークの維持)	1,292,703
<b>2.図書館関係</b>	
● 学習用図書・研究用図書等の収集のための予算	318,082
● 図書館運営管理のための予算	62,431
<b>3.国際交流関係</b>	
● 国際交流のための予算 (語学研修セミナー実施のための経費) (協定校との学生交流経費) (協定校との研究交流経費)	43,533
<b>4.学生生活関係</b>	
● 学生生活援助のための予算 (各種奨学金) (福利厚生のための経費)	508,824
● 課外活動援助のための予算 (サークル活動に対する援助) (セミナーハウスの管理運営に関わる経費) (講習会等課外教育に関わる経費)	442,990
<b>5.キャリア形成支援関係</b>	
● 就職指導・求人開拓に関わる予算 (各種講座・講演会の開催経費) (就職情報収集のための経費) (企業へのPRのための経費)	176,401
<b>6.その他の予算</b>	
● 広報活動のための予算	186,398
● 学生募集のための予算等 (大案内の印刷、オープンキャンパスの実施経費) (入学試験の実施経費)	772,626
● 井上円了学術記念センターの予算	6,741
● 学術公開講座のための予算	14,963
● 事務系情報システム運用等の予算	226,687
● 教育研究環境及びキャンパス整備のための予算 (施設設備の維持・修繕・取得)	2,353,695
● 借入金利息及び返済	834,349

今年度も引き続き、英語特別教育プログラム「SCAT」や「全学総合科目」等を実施します。

教育の質的向上に向けた大学教育改革を、文科省からの財政的なサポートや情報提供によって取り組むプログラムに関する経費です。本学では平成19年度に、工学部で現代的教育ニース支援プログラム(現代GP)、経済学研究科公民連携専攻で大学院教育改革プログラム(大学院GP)が採択され、今年度は2年目を迎えます。

本学OBや一般企業からの協力を得て開かれる講座に関わる経費です。平成20年度は文学部、経営学部、法学部、工学部でそれぞれ開講されます。

教員の一般的な研究に関わる経費や本学で開催される各種学会への補助費用です。

井上円了記念学術振興基金より大学院生や校友へ研究の助成を行います。

東洋大学の附属研究所における研究やその運営に関する費用です。現在、白山キャンパスに4つ、川越キャンパスには2つ、板倉キャンパスに1つの研究所がそれぞれ置かれています。

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団における採択を受けて交付される研究経費です。

公的・私的を問わず、本学以外の機関・個人からの資金提供に基づく研究経費です。

各学部独自で開催している語学や資格取得講座等の実施経費です。経営学部で中小企業診断士および簿記、国際地域学部で英会話に関する講座を開講しています。

各教室のパソコンやそれに伴うネットワーク関連機器、また授業や研究で使用の実験機器等の設備予算です。

図書館内の閲覧用図書に加え、各種データベースの接続費用、図書館の入退館システムや自動貸出返却装置、OPAC等の維持・管理に関する費用等です。

語学セミナーや、交換留学など海外協定校との相互交流に関わる経費です。

各種奨学金や健康診断、アパート・アルバイト紹介など学生生活のサポートに関する費用です。

入学式や卒業式、学園祭などの課外活動全般に関する費用です。

4年目となる「キャリア形成を考えるための特別講演会」や教員養成に関わる経費を含んでいます。

新聞や雑誌、電車や駅等における広告の掲出や、入学試験の実施、校舎の光熱水費、過年度の借入金の返済等の費用が含まれます。

表2 施設事業計画一覧

事業計画	平成20年度 予算額
1. 白山キャンパス	
● 東洋大学国際会館の建設【平成18-20年度計画】	
2. 白山キャンパス	
● 教育学科実習棟(仮称)の建設【平成19-20年度計画】	
3. 川越キャンパス	
● 学生ホール食堂棟の建替【平成19-20年度計画】	
4. 平成21年度大学改革に伴うキャンパス整備	
① 白山キャンパス	
● 国際地域学部の白山第2キャンパスへの移転	
② 朝霞キャンパス	
● ライフデザイン学部生活支援学科の改組	
③ 川越キャンパス	
● 理工学部・総合情報学部の設置	
④ 板倉キャンパス	
● 生命科学部新学科の設置	
平成20年度 施設事業計画 合計	5,730,766

国際地域学部が板倉キャンパスから白山第2キャンパスに移転します。これに伴い、講義棟および部屋棟を新たに建設します。また、法科大学院の学習環境に配慮し、既存校舎の改修工事を実施します。

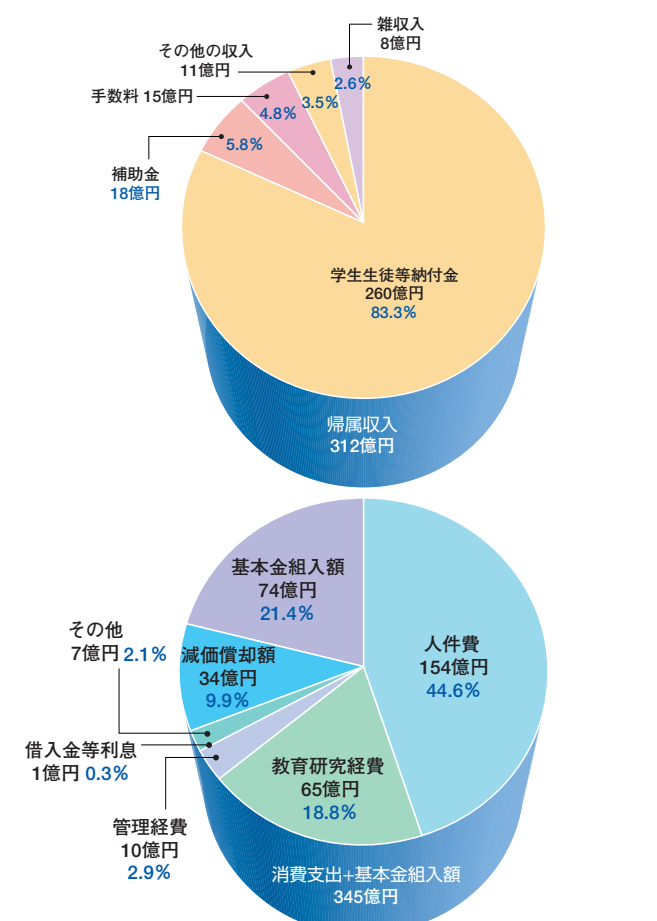
生命科学部の学科改組を行い3学科での教育体制とします。国際地域学部の移転と合わせ、新たな規模に適したキャンパス運営を実現すべく整備を行います。

ライフデザイン学部生活支援学科を2専攻の教育体制とします。生活支援学専攻と子ども支援学専攻を新たに設け、円滑な授業運営が可能となるようにキャンパス整備を行います。

工学部を改組し、理工学部および総合情報学部の2学部での教育体制とします。2学部7学科による教育が支障なく行えるよう、キャンパスの整備を行います。

川越キャンパスにおいては、既存建物の老朽化に伴い新たに食堂棟を建設しています。完成時には地上3階建てとなり、1階は食堂、2階が学生ホール、3階はその他の学生用施設を予定しています。

表3 平成20年度予算



東洋大学国際会館イメージ

## 平成19年度決算

学校法人の1年間の諸活動に伴う全ての資金の動きを表します。

資金収支計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:百万円)

支出の部			収入の部			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	
人件費支出	16,231	15,732	499	学生生徒等納付金収入	27,439	27,552
教育研究経費支出	7,244	6,636	608	手数料収入	1,336	2,031
管理経費支出	1,219	1,301	△ 82	寄付金収入	126	116
借入金等利息支出	144	144	0	補助金収入	2,801	3,243
借入金等返済支出	770	770	0	資産運用収入	434	475
施設関係支出	2,366	2,085	281	資産売却収入	18	19
設備関係支出	945	958	△ 13	事業収入	133	284
資産運用支出	2,425	3,978	△ 1,553	雑収入	485	611
その他の支出	1,445	1,895	△ 450	前受金収入	5,981	7,249
予備費	(187)			その他の収入	1,439	3,327
	413		413			
資金支出調整勘定	△ 234	△ 1,998	1,764	資金収入調整勘定	△ 7,467	△ 8,339
次年度繰越支払資金	24,413	29,723	△ 5,310	前年度繰越支払資金	24,656	24,656
支出の部合計	57,381	61,224	△ 3,843	収入の部合計	57,381	61,224

学校法人の収支の均衡状態を計り、経営状況を表します。

消費収支計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:百万円)

支出の部			収入の部			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	
人件費	16,211	15,550	661	学生生徒等納付金	27,439	27,552
教育研究経費	10,672	10,108	564	手数料	1,336	2,031
うち 減価償却額	3,428	3,464	△ 36	寄付金	126	158
管理経費	1,253	1,356	△ 103	補助金	2,801	3,243
うち 減価償却額	34	55	△ 21	資産運用収入	434	475
借入金等利息	144	144	0	資産売却差額	0	3
資産処分差額	24	59	△ 35	事業収入	133	284
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	雑収入	485	617
予備費	(156)			雑収入合計	32,754	34,363
	444		444	第1号基本金組入額	△ 4,032	△ 2,708
				第2号基本金組入額	△ 2,120	△ 2,120
				第3号基本金組入額	0	0
				第4号基本金組入額	0	0
				基本金組入額合計	△ 6,152	△ 4,828
消費支出の部合計	28,748	27,217	1,531	消費収入の部合計	26,602	29,535
当年度消費収支差額	△ 2,146	2,318				
前年度繰越消費収支差額	△ 18,405	△ 18,405				
翌年度繰越消費収支差額	△ 20,552	△ 16,087				
繰属収支差額	4,006	7,146	△ 3,140			

学校法人の年度末の財政状態を表します。

貸借対照表(平成20年3月31日現在) (単位:百万円)

資産の部			負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末
固定資産	139,187	137,554	1,633	固定負債	12,388	13,340
有形固定資産	110,807	111,310	△ 503	長期借入金	2,320	3,090
土地	40,569	40,588	△ 19	退職給付引当金	10,068	10,250
建物	53,601	54,871	△ 1,270	流動負債	10,257	9,788
構築物	4,180	4,380	△ 200	短期借入金	770	770
教育研究用機器備品	4,396	4,502	△ 106	未払金	1,802	1,126
その他の機器備品	84	80	4	前受金	7,249	7,466
図書	6,929	6,782	147	その他	436	426
車輛	8	10	△ 2	負債の部合計	22,645	23,128
建設仮勘定	1,040	97	943	第1号基本金	156,528	153,820
その他の固定資産	28,380	26,244	2,136	第2号基本金	3,200	1,080
特定資産	28,188	26,024	2,164	第3号基本金	2,070	2,070
その他	192	220	△ 28	第4号基本金	2,033	2,033
流動資産	31,202	26,172	5,030	基本金の部合計	163,831	159,003
現金預金	29,723	24,656	5,067	翌年度繰越消費支出超過額	16,087	18,405
その他	1,479	1,516	△ 37	前年度繰越消費支出超過額	18,405	21,222
				当年度繰越消費支出超過額	△ 2,318	△ 2,817
				消費収支差額の部合計	△ 16,087	△ 18,405
				負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	170,389	163,726
				減価償却累計額の合計	49,541	
				基本金未組入額	3,861	
資産の部合計	170,389	163,726	6,663			